

04月度 例会 個人 山行報告書	報告者	町田 修	参加 メンバー	CL 町田 SL 金子、油井、 藤田、津田、天野 現役：岸上、西川、石川 ゲスト：上杉
	報告日	4月14日		
山城	奥美濃	山行日	2022年04月13日(水)	
山名	能郷白山(1621m)			
山行目的	残雪登山を楽しむ&地域交流		コースタイム (天候：天気図記号)	

配布先
総会参加数
山行：1
リーダー
原紙：
会事務局



1/2.5万地形図：👉 登山口の案内板より借用

天候：曇り時々晴れ
(コースタイム)
林道P発：7:30
登山口：8:30-8:40
前山：11:30-11:40
本峰：13:05-13:20
前山：14:30-14:40
登山口：16:10-16:20



写真②
マンサクの花



写真① 渡渉ポイント



写真③ イワウチワ

〈山行報告〉 毎年4/13日能郷神社「猿楽」奉納の日前後で楽しんでいる能郷白山、今年は2つの大きな変化点があった。一つは現役メンバー3人が参加してくれた。若人とのコミュニケーションは何より嬉しい。二つ目は油井さん(84歳)、日々充実したトレーニングを重ね、準備万全でのご参加だ。さて山行報告、1hの林道歩き体温UPと喧しい程の「ピーチクパーチク」コミュニケーションで登山口に到着。早速渡渉(写真①)から始まる。雪解けの沢は水量が多く、靴を濡らしながらも慎重にこなす。対岸には春を告げるマンサクの花(写真②)が待っていた。そこから取付きの急登は、いつもの事ながらこたえる。登り切った所にイワウチワ(写真③)がチラホウ咲いていた。雪解けで表れた登山道と残雪の雪原を汗をかきながら2h程登ると前山に出る。奥美濃の山々の中でも一際、西方の若丸・冠山の峻峰が目につく。東方には荒島岳と白山連峰、そして白い本峰(写真④⑤)が待っている。そこに向かって稜線をツボ足で快適に飛ばす。山頂直下の急斜面もトップ金子が大きな蹴り込みでステップを切りアイゼンレスで登り切り、山頂に立つ。計画時点では台風の北上や油井さんの体調や残雪の状態など、あれこれ心配もしたが山頂のみんなの笑顔ですべてそれが杞憂に終わった。

写真⑤ 前山からの本峰



急斜面もトップ金子が大きな蹴り込みでステップを切りアイゼンレスで登り切り、山頂に立つ。計画時点では台風の北上や油井さんの体調や残雪の状態など、あれこれ心配もしたが山頂のみんなの笑顔ですべてそれが杞憂に終わった。



写真④ 冠山遠望

長居は無用、早々に山頂を辞し急登の斜面を

グリセードで軽やかに舞いたい処だが、春雪は柔らかく尻セードで滑り降りる。振り返る本峰に別れを告げ、汗かき尾根を駆け降りる。体調不良で登頂を断念した西川からのmailで渡渉地点に簡易の橋が掛けられている事はすでに認識していたが、沢に降り立ち立派な橋(写真⑥)とタイミングの良さに感激した。駐車場までの林道をグールダウン歩行し、山行を終える。樽見の大栄ストアでお土産の鯖寿司をもらい、切れ端の寿司を美味しくいただき、帰路に付く。



写真⑥ 橋

《フリースペース》



山頂の笑顔

残雪の能郷白山を楽しめて感謝です。

確認
(リーダー)
町
22/04/14
田
作成
(報告者)
町
22/04/14
田